

多喜浜校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時	平成30年7月2日（月曜日）	19時～20時30分
場所	多喜浜公民館	
司会・進行	日野連合自治会長	
参加者数	男 57人	女 25人 合計 82人



1. 市の重点事業の説明

参加者からの質疑がある場合は、その他で質問。

2. 連合自治会共通の市政課題「防災について」

（東浜自治会）

もしものときの備えとして最も大切なことは「自分で避難できない人を地域がいかに支援するか」「災害状況を的確に判断し、避難できる住民を育成し、避難率を高めていくこと」の二つである。

南海トラフ巨大地震が起こった場合、火災による人的被害は新居浜市が県内でナンバーワンと想定されており、その対応が今後最も重要となる。連合自治会会員の防災意識を高めるためには、日頃から地域で「もしも」のときを想定した訓練を行うことが必要。よりレベルの高い訓練をするために、市に指導やご支援をもらいたいと思う。多喜浜校区においては避難行動要支援者が83名おり、まだまだ震災における防災リーダーが不足しているのが現状だ。

現在校区内の指定避難所は多喜浜公民館と多喜浜小学校になっている。白浜自治会館と切抜自治会館は一時避難所だが、これらは指定避難場所ではないので支援物資が直接届かない。自宅から公民館までの距離が遠い人も多く、ご高齢の人は遠い避難所まで行くこと

自体が危険だ。校区内にある自治会館や公的機関を指定避難所としていただき、支援物資を直接届けてほしい。

(市民部長)

市の指定避難所としては学校や公民館等がある。これらは住民が被災直後から避難できる施設であり、市の職員を配置して備蓄もしている。情報の伝達や応急救護、支援物資を受けられることもできる。一方、自治会館は災害時に一時的・緊急的に避難する場所であり、地域で自主的に開設して運営する緊急避難場所と位置づけている。支援物資は指定避難所にまとめて配置することになるので、自治会館に避難している方の分はまとめて指定避難所に取りに来ていただくことになる。

要支援者の方が避難する場合は地域の皆さんの協力が必要。日頃からの声掛けをしていただくほか、災害時にはいったん自治会館に避難し、災害が落ち着いてから指定避難所に移動するなど、地域一人ひとりの要支援者に対しての対応を考えていく必要がある。

(東浜自治会)

ご高齢で支援の必要な方も公民館や小学校に避難するのがベストだとは思いますが、多喜浜は海から山まで広がっており、それができない場合も起こる。白浜自治会館は1981年5月31日以降に建築されているので耐震性があると思う。耐震基準に合っている公的な建物は指定避難所とするよう検討してほしい。

(日野連合自治会長)

地震の場合は東予一円が大きな被害を受けるので行政の支援は難しい。各自治会において備蓄することも大事だが、自治会は自治会員の会費で賄われているので自分たちで備蓄する段階まで踏み切れないのが現状。ぜひ市から各自治会への支援をしていただきたい。

3. 校区課題①「衛生センター移転後の跡地有効活用の要望」

(切抜自治会)

衛生センターは平成33年以降に移転すると聞いているが、移転後の施設を地域で有効に活用できるよう要望したい。

まず、災害時の一時避難場所として活用したい。最近は大阪や千葉など地震災害が頻発しており、南海トラフも不安である。毎年のようにゲリラ豪雨や台風被害もあり、避難勧告や避難指示も出ている。高齢の地域住民は自分で公民館や小学校へ避難移動するのが難しいので、自宅にとじこもっているのが現状。衛生センターが避難場所になれば住民も安心するし、荷内地区からの避難場所としても活用できる。

また、跡地は自治会館として有効活用したい。切抜自治会館は平成 16 年災害のときに土石流で使用不能になり、平成 18 年にプレハブで再建したが、当時被害があった場所に再建しているため、過去と同様の不安がある。建物が小さいので防災用資器材の収納スペースもない。

衛生センター跡地を有効活用できれば不安も解消するので検討してほしい。

(環境部長)

現衛生センターは平成 2 年 4 月の供用開始後 28 年が経過し老朽化が進んでいる。今後は既存の下水処理場で共同処理をすることとしており、平成 33 年度中の供用開始を予定している。衛生センターの廃止は共同処理施設の供用開始後になることから、跡地として利用できるのは平成 34 年度の見込み。一時避難所の自治会館とするのであれば施設改修の経費も必要である。跡地利用については今回の要望も含めて関係機関と検討していきたい。

(切抜自治会)

衛生センター建屋は頑丈で耐久性もあると思う。避難場所として使えたら助かる。

(荷内自治会)

平成 16 年当時は荷内自治会長をやっていた。そのときは東側で山が崩れ、西側は衛生センターの前でぐり石と海水で通行止めになった。衛生センターの敷地内を通らせてほしいと要望もしたので、今回の要望を聞き入れてくれたらありがたい。

(日野連合自治会長)

切抜自治会館は平成 16 年に大被害を受け、今後も可能性はある。耐震問題もあるかと思うが、あの建物なら大丈夫ではないか。そこらへんを含めて検討してほしい。

(環境部長)

衛生センターは事務所と処理施設と敷地があるので、全体的に考えていきたい。

校区課題②「白浜地区の東排水路の改修検討要望」

(白浜自治会)

白浜地区は、東側は東浜、西側は新田楠崎に挟まれた低いところに立地している。南には山、北は県道と工業団地があり、ちょうどすり鉢型の中に雨水が集中するような地形になっていることから、過去には平成 16 年の大災害をはじめ、大きな浸水被害に何度も見舞われている。現在の雨水処理は 3 か所のポンプ場により保全されており、ポンプ場管理体制を含め、その処理能力は十分に機能している状況にある。しかし、近年のゲリラ豪雨な

どでは過去の予測を上回る集中雨量があり、全国的にも大きな被害を生じさせている。

白浜地区では、西排水路を整備中であるが、東排水路にも問題があり、改修が必要だと考えている。それは東浜地区との境から白浜川にいたる白浜自治会館北側東西の露出部分、及び白浜川東道路から白浜ポンプ場にいたる埋設管の部分である。現在は白浜ポンプ場をメイン、新白浜ポンプ場をサブとして排水処理しているが、その距離が極めて長いために、ポンプ場での処理が間に合わずにあふれてしまう危険性がある。災害を未然に防ぐため、露出排水路の部分を鍵状、またはボックスカルバートによる改修を要望したい。

(環境部長)

白浜地区には白浜川があり、白浜ポンプ場、新白浜ポンプ場、南白浜ポンプ場がある。東側の地区のエリアに開水路があり白浜ポンプ場と新白浜ポンプ場の2つで排水しているという状況。平成27年度からは個々のポンプ場から上流に向けた雨水排水ボックスの工事をしており、平成32年度までには完成したいと思っている。白浜地区全体では3つのポンプで雨水排水しており、東側地区のメインは白浜ポンプ場だが、南側の新白浜ポンプ場でバックアップして排水している。昨年度の台風18号のときには時間雨量57mm、3時間で130mmを超える雨量があったが溢水には至らずポンプも正常に稼働していた。今時点では対応できていると思う。

豪雨に対する備えが重要だということも認識しているが、市内には浸水個所の整備ができていないところがまだ残っているので、それを優先している。白浜地区でいえば西地区がそれにあたる。水路については勾配や周りの水の寄り方とかも影響している。地元からそのような情報を教えていただき、現地の確認調査も行い検討していきたい。

(白浜自治会)

白浜ポンプ場は白浜自治会で管理を行っており、巡回チェックをしている。当面は緊急度の高い西地区を優先していただいているので、東地区はその後の検討と考えている。どの程度の雨量でどれくらいまで水位が上がるかということも今後の経緯を見ながら相談させていただき、将来に備えていきたい。

4. 市の重点事業に関する質問、その他

(日野連合自治会長)

市政課題についてのご意見はありませんか。

(新田自治会)

多喜浜公民館がハブ的な避難場所になっているが、多喜浜という地区は埋め立てが多くて液状化が問題となる。公民館の液状化対策や調査なども含めて検討してほしい。

(市民部長)

このあたりは低い土地ということで、公民館に限らず液状化は問題になるかと思う。十分に検討して今後の避難所運営に生かしていきたい。地震があったときは津波によって地域が浸水するというような状況も想定される。まず「ご自分の命はご自分で守る」ということを考え、津波の心配のない高い場所に避難し、その後状況が改善された後に改めて指定避難所に移動してほしい。

愛媛県の地震被害の想定によると、新居浜市は液状化によって市全体で 1130 棟の全壊、1216 棟の半壊が想定されている。多喜浜地区の地盤の低いところでも想定されるので、それも含めて避難経路や避難準備を想定していかなければならない。市のほうでも避難経路、避難場所について一緒に考えていきたい。

(白浜自治会)

多喜浜校区では関係諸団体が協力して、「安心して暮らせる、住みよいまちづくり」を目指し、多喜浜に住んで良かったと思えるよう、今後も色々と努力をしていきたいと考えている。工業試験場の解体計画が進行中だと聞くが、工業試験場跡地は校区内の数少ない公共用地である。ああいう優良な土地は、ぜひ校区の利益に資するように利用していただきたい。いろいろな形の利用方法があると思うので、ぜひ校区と相談してほしい。

(石川市長)

現在は取り壊して売却するという事で方策を考えている。売却するかしないかというのについても校区とご相談させていただき「ぜひこのようなことに使いたい」という意見をいただけたら検討させていただきたい。以前は保育園駐車場という話もあったが、駐車場問題は解決したと私は理解している。

(荷内自治会)

防災士の取得についてお聞きしたい。多喜浜地区には 14 名の防災士がおり、私も数年前に資格を取得した。私の仕事は福祉施設の理事長であるが、地域の中に福祉施設があることが防災力のアップになると思う。今までは自治会を中心とした防災組織だったが、福祉施設の職員が防災士の資格を取れるよう、もう少し運用をゆるくしてほしい。

(市民部長)

これまで市内では 458 名の方が防災士の資格を取っている。基本的には自治会を通じて申請し、資格を取った防災士の皆さんに各地域でご活躍していただくということにしている。ただ、県の研修には民間の方の参加もあると聞いている。そういった形で申請できるのかということと、自治会を通じてということについては連自治会とお話をさせていた

だき、協力させていただきたい。

(日野連合自治会長)

この校区懇談会には関係ある部長や課長がたくさん来てくれている一方、全然来ない職員もいる。「地域とつながる推進員」という提案も話が進んでいないと聞いている。まちづくり推進員にはお金(手当)を出しているのか?それなりのお金を出してほしい。

(石川市長)

まちづくり推進員はほとんどが管理職で超勤もつかない。手を挙げてくれる職員はほとんどいないし、担当課長が苦勞して探して最後は指名しているのが事実。職員の自主性に任せているが、意識改革にも取り組んでいる。少しずつは良くなっているが、まだまだ追いついていない。

(日野連合自治会長)

ここに来ている住民は全てボランティアだ。地域の市職員くらい出てくれたらいい、それが地域の発展だと私は思っている。

5. 市長まとめ、閉会挨拶

(石川市長)

市長メールで「東浜自治会の朝の広報塔がうるさい」というのが入った。市から自治会にお願いしてボリュームを落としてもらったが、そのあとは白浜自治会の広報塔がよく聞こえると言ってきて、「誰々が亡くなった」というのを放送するのがおかしいと言われた。自治会のほうで議論をしていただきたい。

地震のときに行政は役に立たない。自分の命は自分で守り、自分が助かれば両隣の人も助けるというように、自主防災組織を自治会単位で組織することが必要だ。ぜひ多喜浜校区の単位自治会で防災組織を結成していただき、1人以上の防災士を配置できるよう、どしどし講習を受けていただきたい。ご要望があればお伝えいただきたい。

衛生センターは平成33年度で廃止することになるかと思うので、皆さんと相談して避難所、自治会館として活用できる方策を考えたい。

東排水路についてはまずは西側をやりあげ、その間にポンプの処理能力や水位の高さを見ながら今後の対策を検討していきたい。

(日野連合自治会長)

全国でこんな自治会放送をしているのはあまりないようだが、私は新居浜市の誇りだと

思っている。「行政にそう言ってくる人もいる」というのは市長にも市民にも認識していただく必要があるが、多喜浜の人は当たり前だと思っている。役に立つこともある。